

うきふ

市議会だより



令和7年
2月1日
令和6年
12月議会号No.80

一般質問って、市政に関する自分や市民の想い、考えを市に伝えることなんだ！

浮羽究真館前に駅を設置したらどうかって質問が印象に残ったな！

わかりやすいように資料を用意したり地域の方のコメントを紹介していた。学校の発表に参考にさせてもらおう！

CONTENTS

- P2～P3 主な議案・審議結果
- P4～P8 一般質問
- P9 総務産業常任委員会報告
- P10 厚生文教常任委員会報告
- P11 特集！浮羽中学校老朽化
⇒浮羽町学校再編事業
- P12 市民の声・表紙紹介

12月定例会
12月6日～20日

新たな事業や必要に応じた増減をする
補正のほか、ルリー口福岡への支援、
職員給与の改定など

補正予算 | 追加 |
4億201万円

主な補正予算（支出）

ラグビータウンプロジェクト推進事業費補助金 ●ルリー口福岡の運営資金（企業版ふるさと納税 1,330万円） ●グラウンド人工芝整備費用（クラウドファンディング 697万円）	2,027万円
県知事選挙費（3月6日告示、23日投開票予定）	1,583万円
障害者対策費（就労支援 A 型から B 型へ移行・共同生活援助利用者増）	1億4,591万円
保育所等給食費補助金（民間保育所食材費補助）	640万円
広域保育所運営委託料・保護者の勤務地の近くの保育所を利用するときの委託料（見込みより利用数が増加）	646万円
生活保護の医療扶助費（高齢化による）	6,500万円
小学校 光熱水費（猛暑によるクーラー使用増）	134万円
中学校 光熱水費（猛暑によるクーラー使用増）	161万円
給与等人件費（補正予算第5号から第7号の給与、報酬、期末手当の改正による）	9,948万円

債務負担行為

債務負担行為は、複数年にわたり債務を負担する行為

公立保育所給食調理業務等委託料（債務負担行為 令和6～9年度）	7,500万円
ふるさと納税業務委託料（債務負担行為 令和6～7年度 最近は納税額が伸び悩んでいるため、全国で活躍する事業者から公募するもの）	3,000万円

主なトピックス

1 ルリー口福岡への支援のあり方について

今回はグラウンド全体の12分の1の整備計画です。令和6年3月定例会でルリー口福岡と市が連携して取り組むよう附帯決議をし、20年間の市有地無償貸与について承認していますが、ルリー口福岡が示した当初計画案から遅れていることが懸念されます。今回、委員会提案で附帯決議を付けるにあたり「費用等の支援を検討する」という表現では、市からの費用拠出に議会が制限をかけにくくなりかねないという意見があり、当初案から次のように修正しました。

附帯決議（要旨）

用地の無償貸し付けを可決した令和6年3月定例会の附帯決議で「うきは市は、ルリー口福岡の Ukiha Garden Park 構想の具現化に向け、連携して取り組んでいくこと」とした。残る11期分の整備に時間がかかっては計画全体に支障を及ぼしかねない。よって、次のことを強く求める。

市は、Ukiha Garden Park構想を実現するため、支援のあり方を検討すること。



ルリー口福岡の天然芝整備に関する附帯決議 論議の経緯
(25分20秒頃から)

2 公立保育所の給食調理業務等委託について

給食調理業務にあたる正規職員が減少し、不在となる2園（千年保育園・浮羽保育所）を民間委託にしようというもの。委託内容は食材の発注と調理。保護者への説明会を2～3月に行う予定です。

主な議案

条例改正

●行政組織改正のための条例改正

(令和7年4月1日から)



施策立案、調整、広報を担当する企画政策課を新設し、その他の組織も一部再編するものです。
(詳細は市の広報をご覧ください)

報告

和解及び損害賠償額の決定について

車両事故による損害賠償

9万9,182円

契約

工事請負契約の締結

道の駅うきは総合交流ターミナル整備工事(老朽化対策、売場面積拡大等のため)

1億7,160万円

審議結果

議案等番号	件名	審議結果
報告第10号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	——
議案第57号	専決処分の承認を求めることについて[令和6年度一般会計補正予算(第5号)]	承認
議案第58号	令和6年度一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第59号	令和6年度うきは市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第60号	令和6年度うきは市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第61号	令和6年度うきは市立自動車学校特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第62号	令和6年度うきは市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第63号	令和6年度うきは市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議案第64号	うきは市道路線の認定について	可決
議案第65号	うきは市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第66号	うきは市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第67号	うきは市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第68号	うきは市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第69号	工事請負契約の締結について	可決
議案第70号	令和6年度一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第71号 ～80号	人事院勧告に基づく市職員、特別職、会計年度任用職員、市議会議員等の給与や報酬等の改定に関する条例の制定について	可決
陳情第6号	陳情書(国政に関する意見書提出を求める)	不採択

陳情第6号の審査経緯 提出者 うきは市民の会 熊抱 昭夫

衆議院選挙の投票率の低さから投票率を上げるための選挙制度に関する施策2点と、政治資金規正法の特定部分の改正、防衛費増額の見直しについての4点について、意見書提出の要望がありました。議会運営委員会で審査した結果、市民の思いは様々であり、十分に市民の意見を反映させるものとは言えない等の理由から、賛成少数で不採択となりました。

本会議では、防衛費増額の見直しに対しては一部採択でもよいという意見もありましたが、趣旨が大きく違うものを合わせて陳情されたものから一部だけ採択するのは不適切だという意見がありました。採決の結果、本会議でも不採択になりました。

陳情第6号の賛否(不採択に賛成:○、不採択に反対:●)

議員名	欠員	高木 亜希子	高松 幸茂	樋口 隆三	組坂 公明	佐藤 裕宣	野鶴 修	竹永 茂美	岩淵 和明	中野 義信	佐藤 湛陽	伊藤 善康	熊懷 和明
案件													
陳情第6号	——	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○

補正予算やうきは市のさまざまな課題・
計画について質疑を行いました

市政を問う!

令和6年12月定例議会



くまだきかずあき
熊懐和明
議員

ジビエ処理場は、
今1人でされ処理が
間に合っていないが

市としてどう支援、補助ができるか今、
担当課と一緒に考えている



市長



熊懐

有害鳥獣の捕獲、地域の人材確保、育成や研究等が課題となっている。今後、備えて対策を進めてもらいたい。

市長

特に中山間地域では、野生鳥獣による農作物被害は深刻な問題であり、鳥獣被害防止対策は喫緊の課題であると私自身も認識をしている。

熊懐

ICT等の新技術を活用した効果的な被害対策の推進について伺う。

市長

今後、市としても積極的にICTの導入など検討していき、捕獲頭数の増加に努めていきたい。

【道の駅の安心安全について】

熊懐

乗降時にドアの開閉がスムーズにできる様、駐車スペースを、道の駅店舗前の市の駐車場だけでも、広げてもらいたい。



▲道の駅駐車スペースの拡幅例

市長

駐車場スペースについては、道の駅とも協議をしながら、前向きに検討していきたい。

熊懐

国道の百堂坂交差点からバイパスへ右折するカーブは急なため、緩やかに曲がれるように改良の要望を、何度かしていたが。

市長

百堂坂交差点については、今年度、測量設計の予算がつき、現在測量の準備をしている。



いわぶち かずあき
岩淵和明
議員

国保税の引き下げを 求める



令和8年度国保税の改定に向けた
協議を行う



市長

岩淵 応能負担と応益負担の比率も見直しが必要で、福岡県が示す標準保険税率との比較、精査を求める。

市長 国保税率の改定にあたり、県が進める保険料水準の統一に向けた取組を注視し、1人当たり医療費の増加、新たに賦課徴収が始まる「子ども子育て支援金」、そして県が示す事業費納付金の算定、標準保険料など、様々な要素を参考に協議する。

岩淵 うきは市国保税限度額について、被用者保険で法定されている賦課限度額世帯割合が全体の0.5〜1.5%の間となることを参考に、うきは市国保税の税率及び税額を見直し、医療分所得割の引き下げを求める。

市長 本市の賦課限度額超過の世帯割合は、医療分2.79%と1.5%を超える部分があり、県

納付金は充足しているが、後期高齢者支援分と介護納付金は県事業納付金が不足している現状から、割合の見直しも併せて行う必要がある。

岩淵 1人当たり医療費抑制策を国保運営協議会に諮問する考えはないか。

市長 医療適正化について国保運営協議会に説明し意見を頂いており諮問は考えていない。



▲うきは市国保税は重すぎませんか



たけなが しげみ
竹永茂美
議員

物価高騰が市民に与える 影響を軽減するための うきは市独自の支援策は



小中学校の給食費4か月分等を
免除している



市長

竹永 筑前町は物価高騰対策として、全町民1人当たり米5kg配布する予算を組んだ。これは「緊急災害対策の配布訓練」も兼ねていたが、市長の考えは。

市長 国の支援等があれば検討する。

竹永 臨時議会で、町民の代表である議員と意見交流し、政策の正当性や議員を通じて広報周知してもらおう等があるが。

市長 議会や市職員の負担軽減も含め3か月に1回開催の定例会で提案したい。

竹永 浮羽中学校の建て替えは、最短何年後に実現可能か。

教育長 令和7年度に基本構想、その後基本計画・基本設計、実施計画、建設工事になり、5年程度かかる。

竹永 学校再編事業は教育大綱や本年度教育基本方針に記載はあるのか。

市長 教育大綱に記載していない。

竹永 ふれあい給食で、プール開放について子どもたちから意見はなかった。

市長 プール開放の要望は全くなかった。

その他の質問

▼浮羽研究真館高校など高校への支援策は

▼うきは市の財政計画について

▼教職員超過勤務縮減のため毎週5時間授業導入は



▼筑前町の
物価高騰対策



さとう ひろのぶ
佐藤裕宣
議員

うきは市
独自の主権者教育を



市議会・選挙管理委員会等と連携し推進していく



教育長

佐藤 うきは市独自の主権者教育に取り組み時期がきているのではないかと。すぐに効果は出なくても、長い目で見たときに、地道な取組が今後の投票率の向上につながると思うが。

教育長 これまでの子ども議会の取組を発展し、子どもたちが関心のある議題に対して議論し、投票して決定するといった体験活動を計画している。

【学校再編事業】

佐藤 学校再編事業を進めるにあたって、教育委員会はどのような役割を担うのか。また、再編事業に対する教育長の考えは。

教育長 検討委員会の開催、地元説明会の開催、ワークショップ等の開催により市民の様々な意見を取りまとめる。また、検討結果をまとめた基本構想・基本計画を策定する。

学校再編による魅力ある学校づくりを進めることで、うきは市で子どもを産み育てたいといった子育て世代の移住促進にも期待している。

学校再編により魅力ある学校づくりを進めることで、うきは市で子どもを産み育てたいといった子育て世代の移住促進にも期待している。

その他の質問

▼高齢者の生きがいづくりについて

▼公園整備について



のづる おさむ
野鶴修
議員

児童公園の整備が望まれているが、整備計画は持っているのか



子育て支援に資する公園の必要性については、十分に理解している



市長

野鶴 市役所東側の吉井グラウンドを児童公園として整備できないか。

市長 子どもから高齢者まで日常的に利用している状態を考慮して、現段階でこの場所に新たな公園の整備は考えていない。

今後、公共施設等総合管理計画を見直し、こちらをしっかりと検討してまいりたい。

野鶴 藤波ダム公園やその他の公園整備等について、また維持管理についてもどう考えているのか。民間の力を借りて、公園の活性化を図ることが重要と思うが。

市長 市有施設における民間活力の導入は検討に値するものだと考えている。この公園についてもPark+PE（公募設置管理制度）の導入を模索している。

野鶴 うきは市にもスケートパークを整備したらどうか。

筑後川温泉病院前の大石放水路でコンクリート舗装されている箇所を、スケートパーク場として整備できないか。

市長 スケートパークについては、飯塚や中間の方でも遠賀川の河川敷を利用したところがあるので、建設課等とも研究してみたいと思っている。

その他の質問

▼各課・係の業務の見直しと機構改革について



▲スケートパーク場として整備が望まれる大石放水路



なかの よしのぶ
中野義信
議員

JR浮羽研究真館高校前駅の設置について



JR久大本線活性化促進協議会で、関係団体とこれまで要望活動を行ってきた



市長

中野 市内唯一の浮羽研究真館高校への支援をどのように進めるか。

市長 現在、市と高校の担当者による定例会を開催しており、学校の活性化と生徒全体に役に立つ支援策について検討してもらいたい。また、令和6年3月の県議会で、うきは西部工業用地造成事業が承認された。この事業に伴う通勤者の利用ニーズの増加や様々な社会情勢の変化、利用実態等を踏まえ、浮羽研究真館高校への通学利便性向上と併せて、久留米市、JR九州及びその他関係団体と協議を進めたいと考えている。

きは市立小中学校の在り方検討委員会設置要綱が議決された。委員は保護者代表、自治協議会等の地域代表で構成している。最終的な方向性を令和7年度中に示したいと考えている。

「浮羽中学校校舎老朽化と浮羽町域小学校再編について」

中野 教育長と市長の考えを伺う。

教育長 12月の教育委員会で、う



▲浮羽中学校・校舎



ひぐちりゆうぞう
樋口隆三
議員

認知症ケア技術「ユマニチュード」の導入について



認知症地域支援推進員等で構成する協議会で検討したい



市長

樋口 「ユマニチュード」とは、フランス語で「人間らしさ」を意味する言葉で、認知症の人に寄り添うケア技術として今、注目を浴びている。介護者の負担軽減に効果を発揮する新しい介護方法として高く評価されているため、本市でも「ユマニチュード」を取り入れてはどうか。

市長 「ユマニチュード」の導入については、今後、支援団体の認知症応援団チーム柿色うきはと市の認知症地域支援推進員等で構成する協議会において、検討していきたい。

の計画がスタートした。うきは市での認知症予防対策及び課題について伺う。

市長 本市は健康診断の結果等に基づく専門職の個別指導のほか、集いの場や老人クラブ、シルバー人材センター等に支援を行う、高齢者の多様な社会参加の場の創出に取り組んでいる。本市の課題として認知症に対する正しい理解と知識の普及啓発が不足していると認識しており、引き続き認知症理解促進や予防に努めたい。

一方で、「ユマニチュード」は認知症ケアの一つの技術であり、サポート側が認知症を正しく理解することが前提条件である。

樋口 政府は、認知症基本法に基づいて、「認知症施策推進基本計画」を12月に閣議決定し、第一期

その他の質問

- ▼少子化対策について
- ▼浮羽中学校の建て替えについて
- ▼ヤングケアラーのアンケート調査結果について





たかぎ あきこ
高木亜希子
議員

保育所等訪問支援の周知と活用を今以上に推進していくべきではないか



周知・啓発に努め、円滑な利用を促したい。ホームページでも周知を行いたい



市長

高木

作業療法士等の専門職が、子どもへの直接支援やスタッフへの間接支援を提供することで、周りの支援力の高まりや保護者の安心感なども期待できるが、考えは。

市長

①ニーズがないか改めて確認するよう地域障害者協議会の部会へ働きかけたい、②保育所等の訪問先施設に円滑な利用を促したい、③保護者に対し周知を行っていききたい。

高木

学校再編やこれからのまちづくりの中で、障がいのある子どもたちがこのまま暮らしている、関係性を育めるような福祉的なアプローチも課題として取り組んで欲しい。考えは。

市長

きちんと使えば有効な制度なので、いかに実施していくのかに注力していきたい。また、個々の有資格者と今後どのような連携を取るのかも一つの課題だ。

保育所等訪問支援とは

障害児通所支援サービスの1つ。専門職が定期的に子どもの通う施設を訪問し、滞りなく子どもへの直接支援、保育士・学校教職員・学童指導員等へ間接支援を行います。子どもの特性に応じて環境や活動の流れなどを調整するというものです。

～サービス提供の流れ～

- ① 市役所福祉事務所への相談・申請
- ② 障害児支援利用計画の作成
- ③ 保育所等訪問支援計画の作成
- ④ サービスの提供開始

専門的知見をどう活かしていくのか、何らかの形で反映できるようにしっかり協議していきたい。

その他の質問

▼特定職業の奨学金制度創設について

▼市ホームページの充実について



くみざき きみあき
組坂公明
議員

耳納クリーンステーションの延長期間は？地元7行政区への説明は？



地元へは来年1月以降、一定の方向性を説明する（延長期間は無回答）



市長

組坂

令和10年4月以降の耳納クリーンステーション延長期間はどれだけか。また、環境保全協定を締結している地元への説明をどう進めていくのか。

市長

（延長期間は市長無回答）来年1月以降、ごみ処理事業の一定の方向性について地元説明を行う。

組坂

耳納クリーンステーション施設の耐用年数はどれだけか。今後大規模改修等はあるのか。

市長

建物自体は50年、もしくは50年以上維持できると考えている。大規模改修は、ごみ処理の方針に応じて検討していく。

組坂

令和10年4月以降の固形燃料RDF受入先は、どう考えているのか。

市長

市としての今後のごみ処理事業の方向性が決定した際には、受入先の具体的な協議に入る

と思われるが、現状では、広域処理、集約化が優先、それがかなわないときはRDFによる民間事業者という方向性で考えている。

その他の質問

▼浸水対策のための止水板等の設置助成について

▼帯状疱疹ワクチン費用の助成について



▲いつまで稼働？耳納クリーンステーション

先進自治体を視察することで、本市の中だけでは知り得ぬ多くの情報を知ることができます。

視察レポート

令和6年10月31日
～11月1日

研究テーマ

脱炭素先行地域づくり事業

(視察先 / 岡山県西粟倉村・岡山県真庭市)

脱炭素・CO₂削減の取組は、公共施設以外も含め、市民への情報提供と参画を促す仕組みづくりが必要!

調査内容

うきは市は令和5年11月「脱炭素先行地域」に選定され、「脱炭素先行地域づくり事業」の取組がスタートした。これらの事業を通して具体的にどのような地域づくりができるのか、先進事例の取組を視察。

岡山県西粟倉村



森林率93%(内人工林84%)、人口約1,400人で、鳥取県・兵庫県に接する岡山県北東部に位置する。「上質な田舎」を目指し「百年の森林(もり)構想」を立ち上げ、脱炭素の取組としては、税収を稼ぐ小水力発電2基と木質バイオマス設備、温泉加温用薪ボイラー、公共施設用暖房・給湯用木質チップボイラー、チップ乾燥用くず焚ボイラー等が稼働し、夏季は冷房用として井戸水が活用されている。

また「低炭素なむらづくり推進施設補助金」を活用し、家庭の脱炭素化を15事業実施し、2030年対象エリアでCO₂排出目標をゼロと設定している。

岡山県真庭市



森林率79.5%、人口約4万人で、木材産地として加工・流通が主産業である。脱炭素の取組はバイオマス産業の取組において先行し、市役所本庁舎は再生可能エネルギーを100%使用し、木質バイオマスボイラーによる官民連携のバイオマス発電所(出力1万kW 2万2000世帯分)を稼働している。また「地域をうるおすゼロエミッション」をうたい、森林・土地など資源を活用し「環境」「社会」「経済」の調和と循環性のあるまちを目指している。市が公募した市民会議で、脱炭素社会の実現に向けた市民提案をまとめ、地域に生きる市民がその恩恵を実感できる形で進められている。

議会の視点

- ① うきは市も多くが森林であり、自然環境や産業の特性を活用し、公共施設を中心に再エネ化と地域電源を循環させる点は同様と考えるが、全国の自治体の動きが進行した場合、機材の調達は目途がつくのか、またPPA(電力購入契約)が成立するのか注視する必要がある。
- ② 脱炭素・CO₂削減の取組は、公共施設以外も含め、市民への情報提供と参画を促す仕組み作りが必要である。
- ③ 脱炭素先行地域づくり事業の具現化が進めば、政策部門と実行部門という行政の組織体制について検討する必要がある。

その他の調査(令和6年10月17日)

『中山間地域の課題に関する調査』

中山間地域の農業振興の現状について、平坦部の農業政策とは分けて調査した。



視察・調査の詳細はこちら!

厚生文教常任委員会

[閉会中調査]



視察・調査の詳細はこちら！

1 小中一貫教育について先進地視察

調査期日・場所

10月23日・24日の2日間 1日目 山口県岩国市 2日目 広島県広島市

調査要旨

市議会だより No.79 に掲載した8月の先進地視察（小中一体型・飯塚市）から引き続き、小中一貫教育なおかつ分離型・隣接型に取り組んでいる先進自治体への視察を行った。

主な内容

岩国市



導入のきっかけは小中間のギャップによる不登校の懸念、学力課題の解消等にある。既存の施設を活用するため、分離型小中一貫教育に取り組んでいる。中学校区ごとに指導主事を配置している。分離型の課題は、「小中間の連携をはかるための加配教員配置」や、「学校間移動のための予算確保」等があげられる。

広島市

まちづくりと併せて学校編成を考えている。小中一貫の導入のきっかけは学校施設老朽化ではなく、生徒数の減少予想が大きく、教育環境を保つことが主要因。「生徒数減少予想」が大きな理由であり、「複式学級を避ける」等の目的がある。
異年齢交流で小中間の垣根が取り払われ、不登校児童・生徒の数は減少している学校が増えている。「荒れ」等についても、小中一貫教育導入校からの報告はない。また、小中一貫校には他学区からも入学しており、将来的な地域づくりや、将来の地域の担い手育成にもつながっていると思われる。

2 市内中学校の実態に関する調査（教育委員会との意見交換）

調査期日・場所

11月6日・市役所

調査要旨

「うきはっこ未来サポート」の中で教育の充実は喫緊の課題とされている。教育委員が現状の市内中学校の実態に対し、どのような見解を持っているのか意見交換した。

主な内容

トラブル発生時の体制や、中学校卒業後の支援のつながり方等について確認した。また、浮羽町域学校再編事業への教育委員の関わり方の確認を行った。



(参考)
文科省 小中一貫
教育手引き



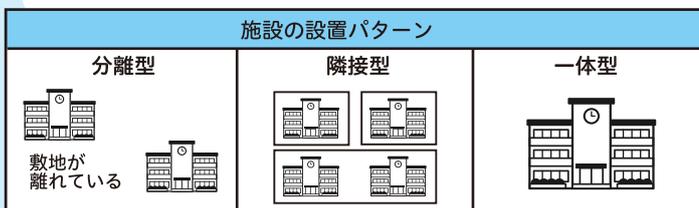
先進地視察で調べてきました！ 小中一貫教育の効果や課題って??

効果があるとされたもの

- 「中1ギャップ」の緩和
- 不登校、いじめ、暴力行為等の指導の問題・負担の減少
- 中学校への進学に不安を覚える児童が減る
- 上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まる
- 下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まる
- 自己肯定感、自己有用感が向上する
- 学習意欲の向上、学習習慣の定着
- 小中学校教職員間で情報共有や協力意識が高まる
- 支援を必要とする子どもたちの様子や課題、対応策等を小中学校間で共有しやすい

課題とされたもの

- 施設・スペースの確保及び時間調整
- 登下校や移動、活動に伴う交通手段や安全の確保
- 授業の1単位時間の違い
- 小学生高学年のリーダー性育成のための行事設定
- 学校規模に応じた室構成と配置
- 校地面積の確保 - 運動場・遊び場・屋外教育環境
- 授業方法の違い
(小学校：学級担任制、中学校：教科担任制)
- 部活動、PTA、学童、コミュニティスクールなどの関わり



住んでいる山春は小学校が各学年1クラス。昔は5、6クラスあったことに驚かされる。小学校の再編と中学校老朽化対策には特に力を入れて、うきは市の子どもたちをもっと活気づけて欲しい！



浮羽町在住
高校生からの一言

浮羽中学校の老朽化問題に関する 市議会での沿革 & 今後の流れをチェック！

今後の「浮羽町域のまちづくり」に直結する事業です！



市長



校舎は築50年目に突入!

今後の動きとしては…

- 検討委員会 (岩淵総務産業常任委員長・高木厚生文教常任委員長が委員として参加)
- ワークショップ ● 市民向け説明会 等の開催が順次予定されています。

※1 債務負担行為: 1つの事業が単年度で終了せず以後の年度において「負担=支出」をしなければならない場合に、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておくこと。

浮羽町域の学校再編事業検討 (浮羽中・山春小・大石小・御幸小) がはじまること、ご存じですか?



1 ハード面の課題 ~財源と維持管理~
浮羽町域の学校(3小1中)の中で、浮羽中学校は建築年数50年を経過して、雨漏り等老朽化が大変厳しい状態です。また3つの小学校については、御幸小は長寿命化実施済ですが、山春小(S53築)・大石小(S52築)の2校は未実施となっています。今後、人口減少&少子化が更に進むことが予想される中、市全体での学校校舎の維持管理も重要な課題となっています。

2 ソフト面の課題 ~学びと出会い~
法律では適正な学校規模の条件として「学級数がおおむね12学級から18学級まで」とされています。クラス替えができる規模ということです。山春小・大石小は継続的にこの適正規模を下回っています。今後、推測される入学者数を算出すると、将来的には複式学級が常態化します。

- 浮羽中は建て替えるの?
- それとも今の校舎を長寿命化するの?
- 小学校は3校のままいくの?
- 3校合併は検討するの?
- 小中連携や小中一貫は選択肢となるの?

- 少子化が進んでいく中で集団での学び・遊びの機会や関わり、色々な人との出会いをどうしたら作っていただけるの?
- 小中連携や小中一貫は選択肢となるの?

学校施設老朽化の課題の解消、また、子どもたちにとって良好な教育環境を確保するため、「数十年後の将来にわたって適正な学校規模を確保できる学校配置」をみんなで真剣に考える時期がきています。「初めから結論ありき」ではなく、学校や保護者、地域の方々との話し合いやアンケート、ワークショップなどを活用して「これからの社会を生きる子どもたちにとって魅力ある学校」となることを求めたいと思います。

市民の声



浮羽町朝田在住
大和田 雅美さん

うきは市をもっと魅力あるまちに！

うきは市に家族4人で移住してきて8年目に突入しました。移住をしてきてよかったことは、自然豊かで水がおいしく、みんな親切で優しい！玄関前に野菜が置かれるなんて迷信だと思っていましたが、移住して数日で迷信が現実になりました。地域で子供の成長を見守ってくれるところも好きなおところですよ。

逆に移住って甘くないなと感じることも。衝撃だったのは保育料。移住前の福岡市との金額の差にびっくり。産婦人科が市内にないことにも驚きました。また雇用が少なく賃金が市全体で低いとも感じています。

『都会と同じに』というのは人口的にも財源的にも無理があるのは分かりきったことですが、高齢化が進むうきは市で、今の世代が次の世代のことを考えてまちづくりをしていかなければ、消滅可能性自治体に名前が載る日もそう遠くないと思います。

魅力溢れるこのまちを持続させていくために、市民ひとりひとりが市議会と自治体行政の政策や動向を見守り、時には声をあげること、行政側はその声をしっかり拾うことで未来につながっていくはずですよ。

議会を傍聴しませんか。

- ▶ 3月の議会定例会は
2月28日(金)開催予定です。
- ▶ 一般質問は
3月3日(月)・4日(火)の予定です。
- ▶ 3月議会への請願書・陳情書は、2月18日(火)正午(予定)までに提出して下さい。



Youtubeのライブ配信や
録画配信でもご覧いただけます。



表紙紹介



一般質問2日目に浮羽究真館高校の生徒3名が議会傍聴に参加しました。中には「浮羽究真館高校への支援策」や「浮羽町学校再編」「浮羽中学校建て替え」など、高校生世代も関心を持つような質問がされ、参加した高校生からは率直な感想が寄せられました。この議会傍聴が、若者が市政に興味をもつきっかけの1つとなることを願っています。

編集後記



温暖化の影響はどこまで出ていくか、はっきりとした評価は出ていませんが、うきはの果樹生産への影響が大きくなっていると危惧しています。

寒い冬でも、庭にやってくるスズメ。その数が急速に減っているとのこと。温暖化や農地の減少、山林の荒廃といった環境の変化が影響しているとの指摘もあります。同じ地球に住む「仲間」が減って絶滅危惧種とは、私たちへの警鐘と思えます。今年は5年に1度の農林業センサスの調査が行われます。海外からの穀物輸入に頼る日本の食料事情の現状を、「国産産」に切り替えられるのか、その土台となる調査に注視したいと思えます。

(岩淵和明)

発行責任者

議長 江藤 芳光

広報広聴委員会

委員長 熊懷 和明
副委員長 組坂 公明
委員 岩淵 和明
竹永 茂美
高松 幸茂
高木 亜希子